

◆全体のフローについて

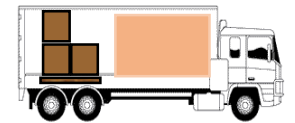
【Before】

		
A社	B社	C社
受注金額 50,000円	受注金額 40,000円	受注金額 70,000円

貸切手配は①②③の優先順位を決めて対応

当日の受注対応

①路線便で対応



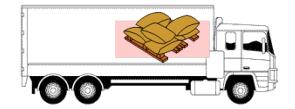
... 路線便で対応
出来ないケースあり

②自社貸切分で対応



... 積載効率が悪い
ケースがある

③協力会社へ依頼



... 長距離で積載が悪い
と協力会社が手配
できない

貸切受注の拡大（案件増加）

積載率が向上

【After】

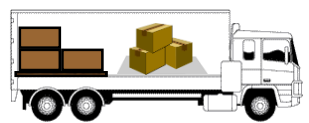
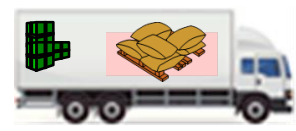
			
			
A社	受注金額 40,000円	D社	H社
B社	受注金額 30,000円	E社	I社
C社	受注金額 60,000円	F社	J社

行先、方面別の積載効率で優先順位を決めて対応

①お客様に、貸切案件を、
可能な限り 前日に連絡頂く
(行先・物量)

②当日に、受託した全ての貸切案件から、積載率を考慮した自社貸切便の仕立てを実施

お客様に価格でも還元できた



積載率が向上したことで1台当たりの収入が増加